

総合基礎科目	人間と社会「芸術とコミュニケーション」					
看護学科	選択	1単位	演習	平成30年度	後期	2～4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B） Lives and Art Practice Exercises (Dorama and Communication B)					
担当教員	黒木陽子					
目的	社会構成主義や状況論を基礎として、関係性の変化を学習と捉え、その関係性の変化を産み出す間主観性を協同的で創発性に富んだコミュニティ形成を通して実践する科目である。演劇表現の持つ可能性を自分たちで演劇作品制作に取り組むことを通して、検証していく。特に、自己内対話と表現をテーマに、形式模倣と意味模倣についても考えていく。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 演劇表現をとおして、自分の声や身体、他者を様々な視点で捉える。 2. チームでの創作活動の中で、合意形成のプロセスを体験する。 3. スタッフワークや1回生のサポートをする中で「観る立場」と「演じる立場」をつなぐために必要なことを考え、実行する。 4. 書かれた文章と伝える言葉の違いを考察する。 					
他科目との関連	「芸術とコミュニケーション（生命と芸術実践演習）」科目群 人間関係とコミュニケーション 相互扶助論Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポート成績				0.4
	その他	講義ごとのミニレポート成績				0.3
	その他	グループワークへの参加度、上演作品の内容				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	なし					
参考資料	「演劇入門」（平田オリザ著） 「コミュニケーション力を引き出す～演劇ワークショップのすすめ～」（平田オリザ／蓮行による共著）PHP新書					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	動きやすい服装・靴で受講すること。（大きく動いたり、床に座ったりすることがある。） また、7回目以降はノートパソコンが必要となる場合がある。					